

折り紙教室で日本の伝統文化に触れる



講師の紹介

今回、折り紙教室に日本折紙協会の中一隆先生を講師としてお招きしました。中先生は、日本折紙協会認定の折紙講師です。現在カルチャースクールでの折り紙講習、創作活動をされています。SNS、ブログの掲載や書籍の出版もされていますのでそちらでも先生の作品、折り図がご覧いただけます。

昨年度開催した折り紙教室をきっかけに、神奈川大学人文学会学生部会として中先生の小学校での折り紙教室にお手伝いとして参加させていただいており、今年度も昨年度に引き続き講師をお願いいたしました。

薔薇と折り紙の日々

<https://naka-origami.cocolog-nifty.com/>
[Instagram](#) @kazutaka.naka

立体構造を楽しむバラの折り紙

ISBN 9784802092289

[Amazon](#) <https://amzn.to/2NBDKiv>

[Kobo](#) <https://a.r10.to/hwSzYh>

折り紙のバラとくすだま

ISBN:9784529059138

[Amazon](#) <https://amzn.to/2BrsHz4>

[Kobo](#) <https://a.r10.to/hwSzYh>

折り紙教室開催の経緯

2022年7月2日に開催された第1回折り紙教室から「日本の伝統文化を学ぶ」シリーズが始まり、今年度は2023年7月19日に行われた「七夕と日本の伝統文化」に引き続き、第2回折り紙教室を開催することとなりました。

折り紙はたくさんの方で楽しまれていますが、日本の伝統文化の一つとして注目されています。新型コロナウイルスにより海外の方々との交流が難しくなった中、現在は分状況が落ち着いてきたことで神奈川大学内でも留学生やこれから留学に行く学生も増えています。そこで異文化交流のツールとして折り紙を



外国語学部 中国語学科3年

小林 琉夏
橋口 京佳



感想

第1回折り紙教室から引き続き中先生と、第2回からアシスタントとして神奈川大学出身の川崎先生を講師に外部からも参加者を募り、第2回折り紙教室を開催することができました。第1回折り紙教室に引き続きバラ作品と遊び心の入った動きのある作品をつくることができ、大変楽しい時間を過ごすことができました。

皆さんの中には大学生になり折り紙を折る機会が減った人が多いのではないのでしょうか。折り紙は子どもの遊びだと考える人も多いと思います。しかし、

特にだましぶねは動かして遊ぶことができ、大人になっても遊びに遊んでみると非常に盛り上がりました。最も参加者が苦戦したのが初代川崎ローズです。決して簡単ではなく、手数も多いため完成まで1時間近くかかりました。しかし、全員で諦めることなく最後まで折ることができ、仕上がりは立体的で花びらが多い華やかなバラで、満足感のある創作でした。より華やかでリアルなバラにするために、竹串で端の方を巻き、細かいところまでこだわりながらそれぞれの個性ある作品が出来上がりました。最初は難しく感じる作品も、「家に帰ったらもう一度折ってみよう」がたくさんあがり、折り紙の楽しさを共有できた教室となりました。

折り紙は簡単に作れる作品から高度な技術が必要になる作品まで幅広く子どもから大人でも楽しむことができます。人文学会学生会部会が開催した折り紙教室は中先生に大学生のレベルに合わせた作品を提案してもらい、幼少期に折っていた折り紙よりレベルの高い折り紙作品を通して折り紙の楽しさを感じることができました。特に今回の作品の中では川崎ローズのレベルが非常に高く、何度も折り目を間違えたり、少しいびつな形になってしまったりしましたが、完成したときの達成感やいくつも作成することで前回よりうまく折れることがうれしくて作成に夢中になりました。

折り紙教室を通して、異文化交流を行う際に一つでも作品を作れたら大きな強みになると考えます。折り紙に興味がある人や異文化交流を積極的に行いたいと考えている人は次回の開催では是非参加していただけると、折り紙の楽しさやレベルの高さに驚くと思います。

神奈川大学人文学会学生会部会は学生による自主的な活動を行う団体です。ご興味ある方は是非ご参加ください。

★当日の様子

今回の折り紙教室はみなとみらいキャンパスナレッジコアにて10人程度で開催し、2そうぶねから出来るかざぐるま、だましぶね、風車のバラ、そして初代川崎ローズ（ひらいたバラ）を作りました。2そうぶねから風車のバラまでは、幼いころに折ったことのある方もいて、懐かしさに触れながら進んでいきました。

身につけられたらいいのではと、「日本文化を身につけて異文化交流に活かしてみよう」というテーマを掲げ、第1回折り紙教室が開催され、引き続き参加者を募集し第2回を開催することができました。

